

農学部 OPEN CAMPUS 2025

日 時

2025年 8月 8日（金）【第1部】 9:00～11:00
【第2部】 10:30～12:30

会 場

全体説明：岡山大学創立五十周年記念館（岡山市北区津島中1丁目1番1号）
研究室見学：岡山大学農学部（全体説明終了後、担当教員が誘導します。）

プログラム

8月 8日（金）

1. 日程

第1部	第2部	内容 ※第1部、第2部とも同じ内容です。
9:00～ 9:15	10:30～10:45	受付
9:15～10:00	10:45～11:30	学部長挨拶、学部概要説明、 学生生活についての体験談
10:00～10:15	11:30～11:45	移動
10:15～11:00	11:45～12:30	研究室見学

2. 研究室見学

農学部では、2026年度から5プログラム教育体制に移行することを計画中です。
なお、計画は現時点のものであり、今後変更となる場合があります。

見学を希望するプログラム別に分かれ、プログラム毎に施設見学・研究内容紹介を行います。

- ・生物生産プログラム
- ・農芸化学プログラム
- ・植物科学プログラム
- ・動物科学プログラム
- ・環境科学プログラム

研究室見学を希望する場合は、全体説明終了後、プログラム別の研究室見学担当教員が見学場所へ誘導します。

別途開催の生殖補助医療コースの説明会（ART 企画）に続けて参加希望の方で、研究室見学にも参加希望の方は、ART 企画開始前まで動物科学プログラムを見学ください。

〈各コースの紹介・研究室見学概要〉

【生物生産プログラム】

2026年から新設されるプログラムです。農作物とその生産技術に対する多角的な理解を深め、さらに発展させるために、AI や ICT などのコンピューターテクノロジー、遺伝子解析に代表される

分生物的手法、農業経済的手法、雑草防除等災等栽培環境の管理手法などを活用し、農作物生産の様々な課題を解決するための研究を実施しています。園芸学、作物学、雑草学、農業工学、農業経済学を専門とする研究ユニットから構成されています。研究室見学では、このうち2研究ユニットの圃場・温室・実験室などを見学します。

【農芸化学プログラム】

農芸化学という学問は「基礎」と「応用」が渾然一体となった体系を持ち、人や技術を介して産業と強くつながっています。学生は、化学と生物の幅広い分野の基礎知識と専門知識を修得し、卒業後は多くの学生が大学院へ進学します。また、食品・化粧品・化学・医薬品関係などの企業や官公庁で活躍しています。今回は、動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、食品と健康などを、主に化学的な考え方に基づき基礎から応用まで広く研究する6つの研究室を見学します。（すべての研究室を見学できない場合もあります。）

<6つの研究室> 天然物有機化学、生理活性化学、食品生物化学、生物情報化学、微生物化学、細胞システム化学

【植物科学プログラム】

イネ、ムギ、サツマイモ、モモ、メロンなどの農作物、あるいはシロイヌナズナ、ベンサミアナタバコ、ミナトカモジグサといった実験植物を対象として、有用機能の分子生物学的解析や遺伝的改良、収穫後の生産物貯蔵・流通・加工技術の開発のように、作物生産に付随する生命現象を生理学的・生化学的・遺伝学的・分子生物学的・進化学的に究明・応用する教育・研究を行っています。植物病理学、植物育種学、園芸利用学を専門とする研究ユニットから構成されています。研究室見学では時間の関係で選抜したユニットの紹介となります。

【動物科学プログラム】

今年度は、生殖科学および食品・健康科学を専門とする研究室を紹介します。生殖科学では、家畜の効率的生産およびヒトの生殖医療への貢献を目的に取り組んでおり、卵子の発育や胚の発生だけでなく、卵巣、卵管および子宮といった生殖器の機能調節メカニズムを探る研究についてもご紹介させていただきます。一方、食品・健康科学では、さまざまな食品素材の摂取が腸内環境に与える影響を検証し、腸の健康維持およびヒトの疾患予防に資する知見の創出を目指して研究を進めています。今回は、その研究内容の紹介とともに、腸内微生物の観察を体験していただきます。

【環境科学プログラム】

生物群集の構造や進化、生態系の機能、さらには人間・社会経済と環境との関係について、学際的にアプローチする文理融合型プログラムです。これらを通じて、ローカルからグローバルまで、さまざまなスケールの環境と人間の関係について深い知識を身につけ、国際的に活躍できる人材を育成します。

見学ルートの概略は下記の通りです。

- ① 植物や森林の生態に関する研究についてご紹介します。
- ② 軟体動物の分類に関する研究について分かりやすくお話しします。

③ 「コモンズ」をキーワードに、環境と人間・社会のよりよい関係についてお話しします。